

令和2年度 学校評価 結果分析

※今年度はコロナ対応に関連し一部文言が変更されたが、ほぼ昨年度と同じと見なし比較の対象とした。(文言の変更は、アンケート集計結果を参照。)

() 内の数値は%

観点	保護者等 (含：学校運営協議会)	生徒
1. 「A+B」 = 80%以上 (肯定的評価)	37 / 37項目 (昨年度35 / 39項目)	33 / 36項目 (昨年度：33 / 38項目)
2. 「A+B」で特に評価の高い項目 (90%以上)	「6. 学校からの連絡文書」(92) 「7. 参観の機会」(91) 「9. 学校からの情報発信(HP等)」(93) 「11. すぐメール」(95) 「14. 教員の対応」(95) 「15. 教員の熱意」(92) 「16. 授業」(91) 「25. 進路指導(アドバイス)」(90) 「27. 地震等対策マニュアル」(90) 「28. 体験活動」(90) 「30. 施設・設備」(90) 「35. あ・じ・みの指導」(90)	「12. 体罰」(91) 「14. 学習評価」(90) 「18. モラル・マナー指導」(91) 「22. 安全指導」(90)
3. 「A+B」で昨年度と比較して評価を下げた項目	【5ポイント以上マイナス】 「34. 地域と連携した活動」(89→83) 【それ以外のマイナス項目】 9 / 37項目	【5ポイント以上マイナス】 「5. 家庭での学校の話」(78→72) 「16. 学習の理解」(86→81) 【それ以外のマイナス項目】 17 / 36項目
4. 「C+D」 = 15%以上 (否定的評価)	なし 【5ポイント以上】 「34. 地域と連携した活動」(▲6.6)	「5. 家庭での学校の話」(15) 【5ポイント以上】 「16. 学習の理解」(▲5.3)
5. 「E」 = 15%以上 (周知不足)	なし	なし
6. 本校への満足度	「3. お子様(生徒)はよろこんで学校に通っている」(84→89)	「2. 本校に入学できてよかったと思っている」(90→88)

【分析】 (成果と課題)

- ① 「観点1」で保護者等の本校への評価は高く、全項目で「A+B」が80%を超えている。また、37項目中27項目で昨年度に比べ評価が上がっている。一方生徒は評価は高いものの、約半数の項目が微減である。
- ② 「観点2」では、保護者等からの「コロナ対策」(休校時の情報発信含む)に高い評価を得ている。特にHPやすぐメールの活用が高評価であったと思われる。
- ③ 「観点3」「同4」において、保護者等の「34. 地域と連携した活動」は、コロナの影響でボランティア活動等ができなかった影響が大きいと思われる。また生徒の「5. 家庭内での学校の話」については休校のため話す材料が少なかった影響と推測される。
- ④ 「観点3」「同4」において、生徒があげた「16. 学習の理解」については、今年度質問に「オンライン授業」が追加された。この項目で評価が下がったのは、本校のオンライン授業がまだまだ発展途上であると受け止め、オンライン授業を含めICTの活用について今後研究・実践を重ねていく必要がある。
- ⑤ 「観点6」において、肯定的な数値(保護者等と生徒の両方が約90%)に慢心することなく、きめ細かい対応を続けていく必要がある。
- ⑥ 保護者等と生徒のどちらも「E(わからない)」の回答が最も多かった。(「A+B」はともに微増ではあるが。) 学校としてさらに業務の精選に取り組みたい。